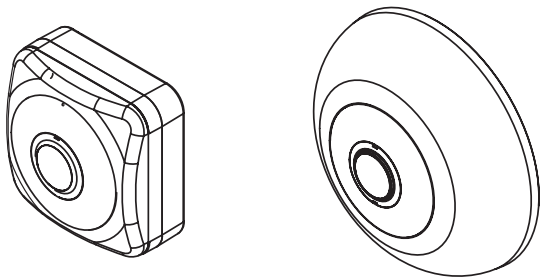
TAMRON®

Panorama Camera
180-View

Model 130NT-P-CM

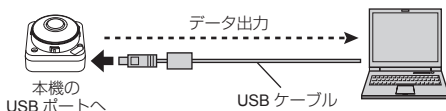
取扱説明書　設定編

この度は、タムロン「Panorama Camera 180-View」をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。ご使用になる前に取扱説明書の内容をよくお読み頂き、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず大切に保管してください。

● 取扱説明書について
本機の取扱説明書は､本書と「取扱説明書 設置編」の 2 部構成になっています。
本書では、本機の設定と映像設定について説明しています。
本機の設置については、「取扱説明書 設置編」をご覧ください。
PDF ファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社の Adobe®Reader® が必要です。

目次

設定の前に

パソコンとカメラを接続する

パソコンを起動し、USB ケーブルでパソコンとカメラを接続します。次にカメラの電源をオンにしてください。

※ USB ケーブルはお客様にてご用意ください。

USB ポートのゴムキャップは、強く引っ張ると抜けるのでご注意願います。また、防水性・防塵性を維持するため、使用後や不使用時は必ずゴムキャップを取り付け、本体より凸なく平らに収まっていることを確認してください。

動作環境

ご使用になるパソコンが以下の使用条件に合うかご確認ください。

項目	動作環境
OS	WindowsXP Professional Version 2002 SP2/SP3, Windows Vista
メモリ	256MB 以上
ハードディスク空き容量	1GB 以上

■動体検知アラーム

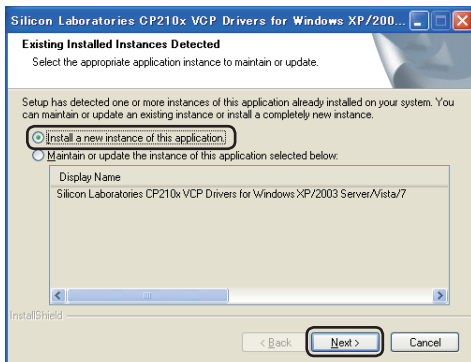
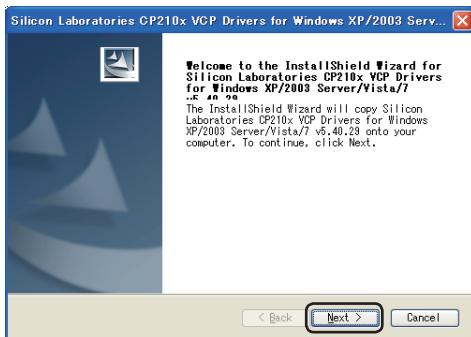
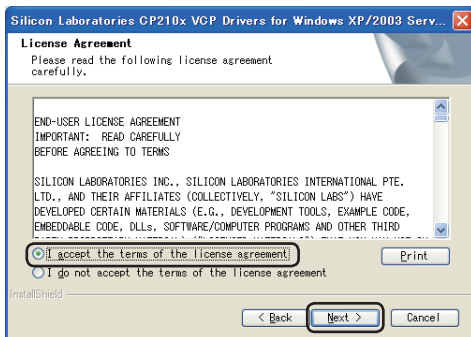
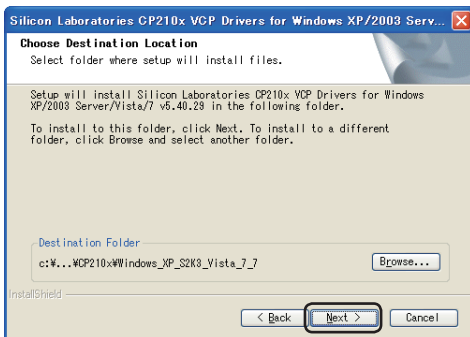
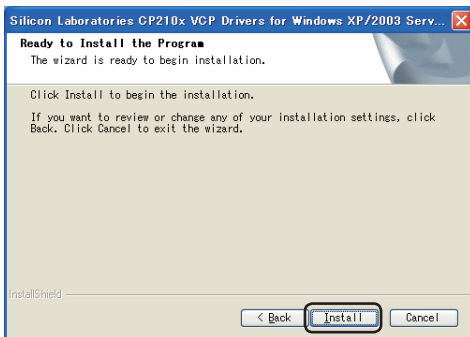
動きのある被写体を検知したとき、ON になります。アラーム出力は NPN オープンコレクタ出力相当となります。ドライブ能力は最大 50mA 以下、DC 12V 以下で使用してください。

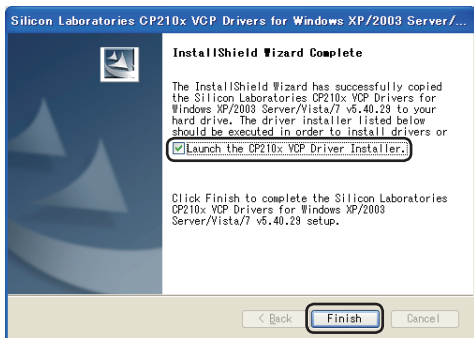
ソフトウェアをインストールする

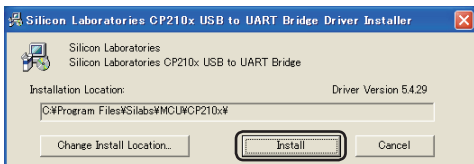
1. パソコンを起動して、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる

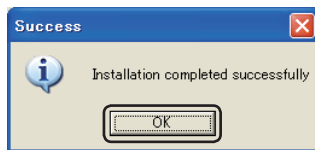
2. CD-ROM 内の以下のファイルを、ご使用になるパソコンの任意のフォルダーへコピーする
   - 130NT-P-CM Parameter Setting Ver1.0.exe（カメラ制御ソフトウェア）
   - CP210x_VCP_Win_XP_S2K3_Vista_7.exe（USB/RS232C 変換ソフトウェア）

3. 「CP210x_VCP_Win_XP_S2K3_Vista_7.exe」をダブルクリックする

4. [Install a new instance of this application] を選択して、[Next >] をクリックする

5. [Next >] をクリックする

6. [I accept the terms of the license agreement] を選択して、[Next >] をクリックする

7. [Next >] をクリックする

8. [Install] をクリックする

インストールが始まります。

9. [Launch the CP210x VCP Driver Installer.] にチェックマークがついていることを確認して、[Finish] をクリックする

ドライバのインストール画面が表示されます。

10. [Install] をクリックする

インストール終了画面が表示されます。

11. [OK] をクリックする

12. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す

■ アンインストールする

● WindowsXP の場合

［スタート］ → ［コントロールパネル］ → ［プログラムの追加と削除］から本ソフトウェアをクリックし、プログラムを削除します。

● WindowsVista の場合

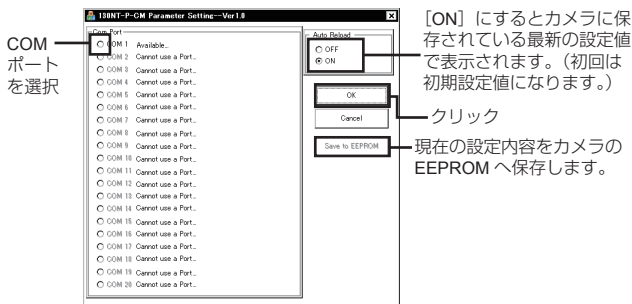
［スタート］ → ［コントロールパネル］ → ［プログラムのアンインストール］から本ソフトウェアをクリックし、プログラムを削除します。

ソフトウェアを起動する

パソコンに接続されたカメラの電源をオンにしてください。

1. お使いのパソコンにコピーした「130NT-P-CM Parameter Setting Ver1.0.exe」アイコンをダブルクリックする

COM ポートの選択画面が表示されます。

2. 本機と接続した COM ポートを選び、［OK］ボタンをクリックする

メイン設定画面が表示されます。

■ 使用する COM ポートを確認する

① ［マイ コンピュータ］をマウスで右クリックして［プロパティ］を選ぶ

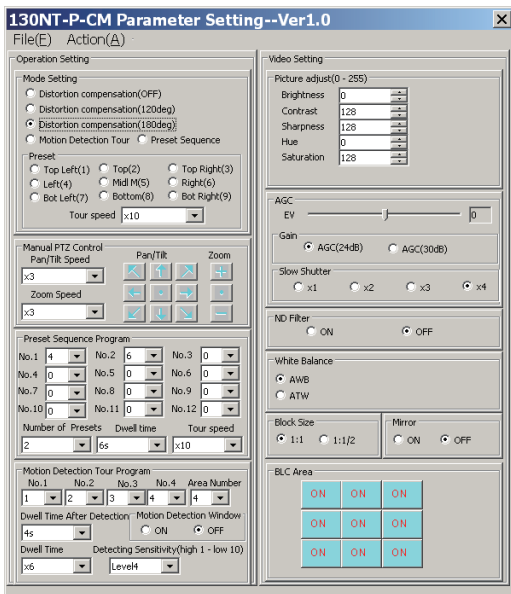
② 「システムのプロパティ」画面で［ハードウェア］→［デバイス マネージャ］を選ぶ

③ 「デバイス マネージャ」画面で「ポート（COM と LPT）」の Silicon Labs CP 11x USB to UART Bridge (COMxx) の表示を確認する

「comxx」が使用できる COM ポートです。

注意 パソコンと設定のポートを合わせてください。
相違があるとカメラのコントロールができません。

3. メニューから［Action (A)］→［Reload (R)］を選ぶ

カメラの初期設定値が読み込まれ、メイン設定画面上に反映されます。

設定を行うには、P.12「カメラと映像の設定をする」へ進んでください。

ソフトウェアを終了するには

1. メニューから［Action (A)］→［Write to EEPROM (W)］を選ぶ

メイン設定画面に表示された設定値がカメラの EEPROM に書き込まれます。

書き込みが終了すると画面に "Successfully Loaded" と表示されるので、［OK］をクリックして画面を閉じます。

メモ：
［Write to EEPROM］を行うと、初期値に現在の設定値が上書きされます。
［Write to EEPROM］を行う際は、必ず［Reload (R)］で最新のカメラ設定値を取得してください。
（COM ポートの設定が必要になります。COM ポートの設定については、「使用する COM ポートを確認する」（P.9）をご覧ください。）

2. メイン設定画面右上の ☒ をクリックする

"Save to EEPROM?" とメッセージが表示された場合は、設定値がまだ書き込まれていません。［はい］をクリックします。

書き込みが終了すると画面に "Successfully Loaded" と表示されるので、［OK］をクリックして画面を閉じます。

130NT-P-CM Parameter Setting Ver1.0.exe が閉じ、設定を終了します。

バックアップファイルを作成する

1. メニューから［File (F)］→［Save file (S)］を選ぶ

メイン設定画面に表示された設定値が書き出され、ファイルに保存されます。

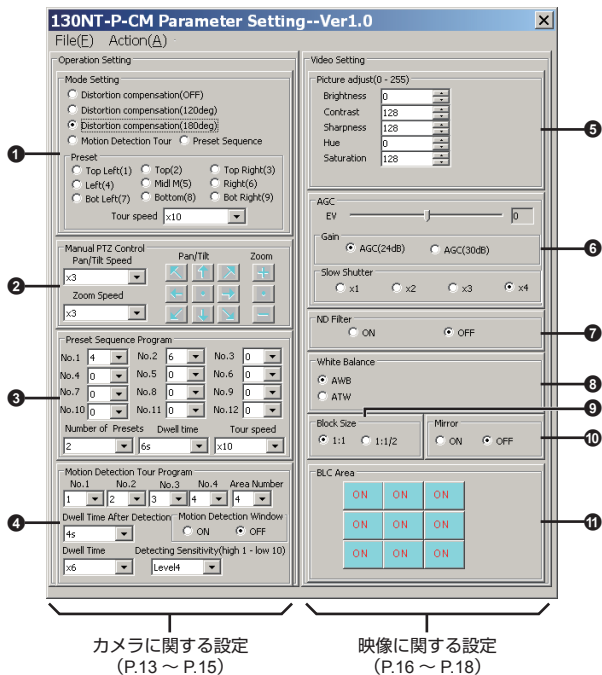
バックアップファイルを読み込む

1. メニューから［File (F)］→［Open file (O)］を選ぶ

2. 読み込むバックアップファイルを指定し、［開く］をクリックする

メイン設定画面上に設定値が反映され、カメラ内の設定値も更新されます。

メモ：本操作以外で作成したファイルの読み込みは行わないでください。

カメラと映像の設定をする

❶ Mode Setting（出力画面選択）

画面の歪み補正機能や巡回表示機能、自動シーケンス機能の ON/OFF を設定します。また、画面のブロック毎に歪み補正機能を設定します。

<table>
<tr><th colspan="2">設定値</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td colspan="2">Distortion compensation(OFF)</td><td>OFF にすると、歪み補正されず、魚眼レンズで映した映像をそのまま表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Distortion compensation (120deg/180deg)</td><td>水平画角を 120 度または 180 度に補正して画像表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Motion Detection Tour</td><td>動体検知の巡回機能を有効にします。巡回表示中、選択したエリア内で動きのあるものを検知したとき、そのエリアを自動で表示します。
→エリア設定「Motion Detection Tour Program」（P.15）</td></tr>
<tr><td colspan="2">Preset Sequence</td><td>自動シーケンス機能を ON にします。
→エリア設定「Preset Sequence Program」（P.14）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Preset</td><td>Top Left (1)、
Top (2)、
Top Right (3)、
Left (4)、
Midl M (5)、
Right (6)、
Bot Left (7)、
Bottom (8)、
Bot Right (9)</td><td>表示するプリセットエリアを選択します。
<table><tr><td>Top Left (1)</td><td>Top (2)</td><td>Top Right (3)</td></tr><tr><td>Left (4)</td><td>Midl M (5)</td><td>Right (6)</td></tr><tr><td>Bot Left (7)</td><td>Bottom (8)</td><td>Bot Right (9)</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>Tour speed</td><td>プリセットエリア移動時の電子パン／チルトのスピードを設定します。</td></tr>
</table>

❷ Manual PTZ Control（手動パン・チルト・ズーム調整）

カメラの向きの調整やズーム表示を手動で行います。

設定値	詳細	設定範囲
Pan/Tilt Speed Zoom Speed	移動速度の設定です。数値が小さい方が遅く、大きい方が速くなります。	x1 ～ x10
Pan/Tilt Zoom	クリックすると指定した方向へ移動します。	—

❸ Preset Sequence Program（プリセットシーケンス）

Mode Setting の［Preset Sequence］を ON にした場合の、プリセットエリアの指定を行います。

<table>
<tr><th>設定値</th><th>詳細</th><th>設定範囲</th></tr>
<tr><td>No .1 ～ No.12</td><td>Mode Setting で［Preset Sequence］を選択した場合の、プリセットエリア番号を指定します。
プリセットエリア No.1 ～ 9（10 ～ 18）
<table>
<tr><td>1 (10)</td><td>2 (11)</td><td>3 (12)</td></tr>
<tr><td>4 (13)</td><td>5 (14)</td><td>6 (15)</td></tr>
<tr><td>7 (16)</td><td>8 (17)</td><td>9 (18)</td></tr>
</table>
0 ：歪み補正なし　19 : 補正画像（180°）
22 : 補正画像（120°）
メモ :
• 10 ～ 18 を指定した場合、デジタルズームで拡大表示されるため、画像が粗くなります。</td><td>0 ～ 19、22</td></tr>
<tr><td>Number of Presets</td><td>表示するエリア数を設定します。
［例］4 に設定した場合
表示順は、No.1 → No.2 → No.3 → No.4 → No.1 →…となり、エリア表示の順番は入力された設定(→ P.12)、4 → 6 → 0 → 0 → 4 ･･･となります。</td><td>2 ～ 12</td></tr>
<tr><td>Dwell time</td><td>mode 切り替え時の保持時間です。</td><td>0s ～ 10s</td></tr>
<tr><td>Tour speed</td><td>mode 切り替え速度です。数値が大きいほど速くなります。</td><td>x1 ～ x10</td></tr>
</table>

❹ Motion Detection Tour Program（動体検知）

動体検知機能の設定を行います。

設定値	詳細	設定範囲
No.1 ～ No.4	Mode Setting の［Motion Detection Tour］のエリア番号を指定します。指定できるエリアは次の通りです。 <table><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table> ［例］エリア設定、No.1=1、No.2=2、No.3=3、No.4=4 の場合、表示順は、No.1 → No.2 → No.3 → No.4 → No.1 → …となり、エリア表示の順番は入力された設定（→ P.12）、1 → 2 → 3 → 4 → 1 ･･･となります。	1 ～ 4
Area Number	最大巡回ユーザーエリアを設定します。	2 ～ 4
Dwell Time	エリアの切り替え時の所要時間です。数値が小さいほど速くなります。	x1 ～ x10
Dwell Time After Detection	動きのある被写体を検知したエリアの切り替えとそのエリアの画像表示の保持時間です。	1s ～ 10s
Detection Sensitivity （high 1 － low 10）	動きを検知する感度を設定します。数値を少なくすると感度が上がり、多くすると感度が下がります。 **メモ :** • 数値を小さく設定しすぎると、感度が上がりすぎてしまう場合があります。そのため、誤作動が多くなることがありますので、適切な数値にするよう注意してください。	Level 1 ～ Level 10
Motion Detection Window	動きを検知した際、被写体に枠を表示する／表示しないを設定します。	ON, OFF

❺ Picture adjust（画質調整）

画面表示の明るさやコントラストなど、画質の調整を行います。

設定値	詳細	設定範囲
Brightness	明るさを設定します。	0 ～ 64
Contrast	コントラストを設定します。	0 ～ 255
Sharpness	画像のシャープさを設定します。	
Hue	色合いを設定します。	
Saturation	色の濃さを設定します。	

❻ AGC（自動ゲインコントロール）

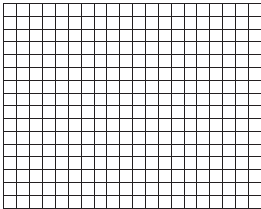
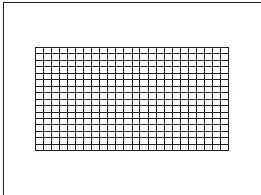
オートゲインコントロールの設定を行います。

設定値		詳細	設定範囲
EV		露出値を設定します。	-9 ～ +9
Gain	AGC(24dB)	ゲインの最大値を 24dB まで増幅して表示します。	―
	AGC(30dB)	ゲインの最大値を 30dB まで増幅して表示します。	―
Slow Shutter		ACG ゲインを使用しても明るさが不足するときに使用します。 Shutter の蓄積時間を長くし、映像を増幅します。この機能を使用するとフレームレートが下がるので、動きの速い被写体を映す場合はズレが生じます。 動作は下記のようになります。 0 → 24dB ⇒ x2, x4 ⇒ MAX 30dB AGC　slow shutter　AGC	x1 ～ x4

❼ ND Filter（NDフィルター）

ND フィルターの設定をします。

設定値		詳細
ND Filter	ON	ND フィルターを使用します。
	OFF	ND フィルターを使用しません。

❽ White Balance（ホワイトバランス）

ホワイトバランスの設定をします。

設定値	詳細
AWB	自動的にホワイトバランスを調整します。（色温度設定枠あり）
ATW	自動的にホワイトバランスを調整します。（色温度設定枠なし）
One-Push	ATW に設定したときに、ワンプッシュモードになります。

❾ Block Size（検知ブロックサイズ）

動体検知用ブロックサイズを設定します。
MEMO：Block Size 設定後、カメラを再起動すると設定が有効になります。

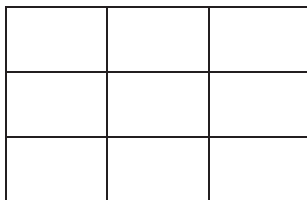
設定値	詳細
1:1	画面全体を 20 × 16 の格子分割します。
1:1/2	画面半分を 20 × 16 の格子分割します。 **メモ：** • 格子分割開始位置は垂直方向 240、水平方向 256 からです。 • ブロック以外のエリアは動き検知はしません。

⑩ Mirror（ミラーモード）

画像を水平方向に反転させて表示します。

設定値	詳細
ON	ON にすると、画像を水平方向に反転させて表示します。
OFF	画像を通常通り表示します。

⑪ BLC Area（逆行補正）

全画面を以下のように 9 分割表示し、AE 検波エリアを ON/OFF します。

TAMRON®

株式会社タムロン　特機事業本部　新商品推進部
〒 337-8556　埼玉県さいたま市見沼区蓮沼 1385 番地
Tel.（048）613-7629　Fax.（048）683-8594
E-mail　tokki@tamron.co.jp